INAX

保証書付
（別添）

ろ過装置付気泡浴槽

マルチジェット

（機能部 屋外設置型）

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
※保証書は紛失しないように大切に保管してください。紛失した場合、修理が有料となる場合があります。
※転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書と保証書をお渡しください。

24時間バス(追焚)、水道化粧運転に対応する機器は使用しないでください。

もくじ

各部の名称 ……1
安全のために必ずお守りください ……4
故障をおこさないためにお守りください ……7
ご使用方法 ……8
- 貯湯の準備・排水について ……8
- 貯湯について ……8
- 運転準備 ……10
- ジェットの運転と停止の方法 ……10
- ジェットのつよさを変える ……12
- おこのみのつよさを設定する ……14
- パルスジェットの運転 ……15
- サイクルジェット ……16
- ジェット（噴射口）の向きを変える …17
- エアーブローの運転と停止の方法 ……17
- エアーブローのつよさを変える ……18
- リモコンを一時的に操作できなくする［ロック機能］…19
- 時刻合わせ ……21
- 上手に使うために ……22

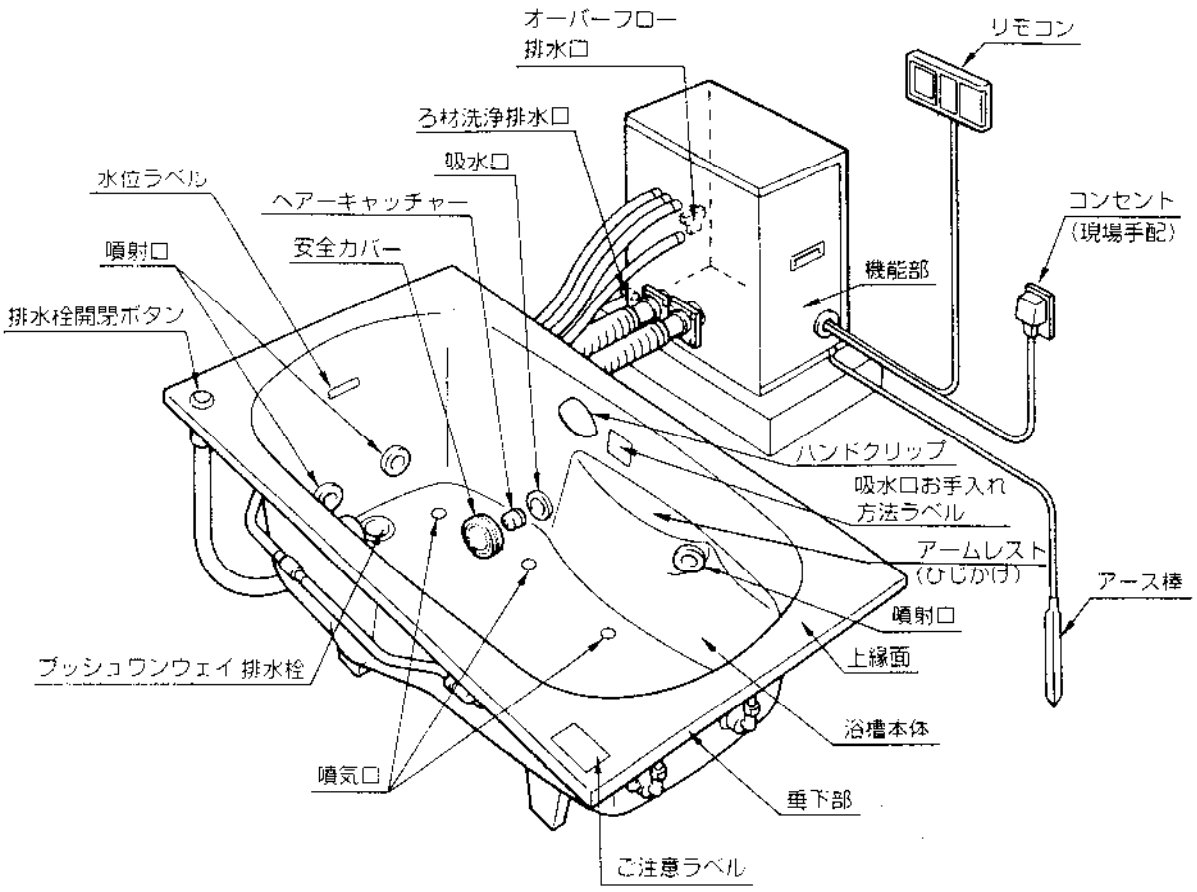
お手入れ方法 ……23
- 吸水口のお手入れ（週1~2回行ってください） ……24
- ろ材洗浄 ……26
- 凍結防止のために ……28

故障かな？と思ったら ……29
- リモコンの警告表示 ……31

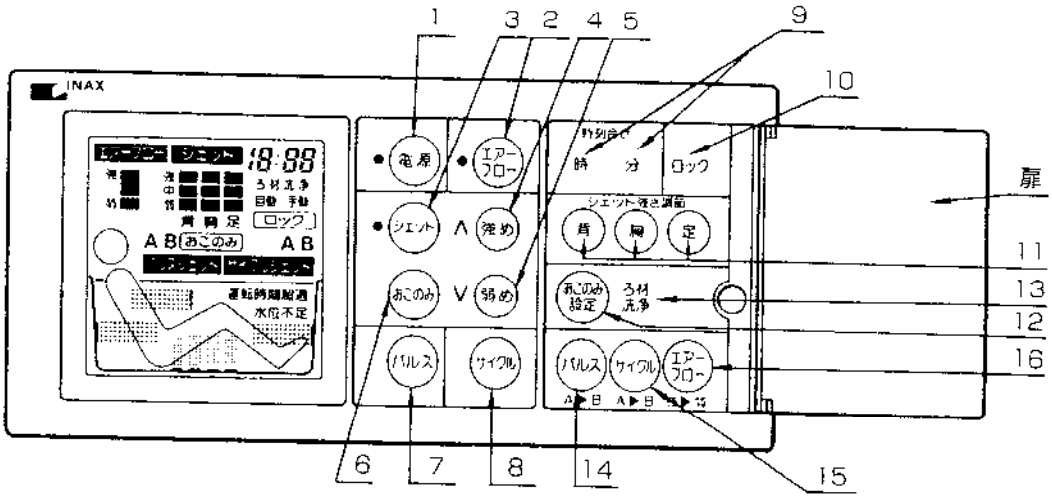
アフターサービスについて ……32
- 廃棄について ……33

仕様 ……34

各部の名称


オーバーフロー
排水口
リモコン
ろ材洗浄排水口
吸水口
水位ラベル
ヘアーキャッチャー
コンセント
(現場手配)
噴射口
安全カバー
機能部
排水栓開閉ボタン
ハンドクリップ
吸水口お手入れ
方法ラベル
アームレスト
(ひじかけ)
アース棒
噴射口
上縁面
プッシュワンウェイ排水栓
浴槽本体
噴気口
垂下部
ご注意ラベル

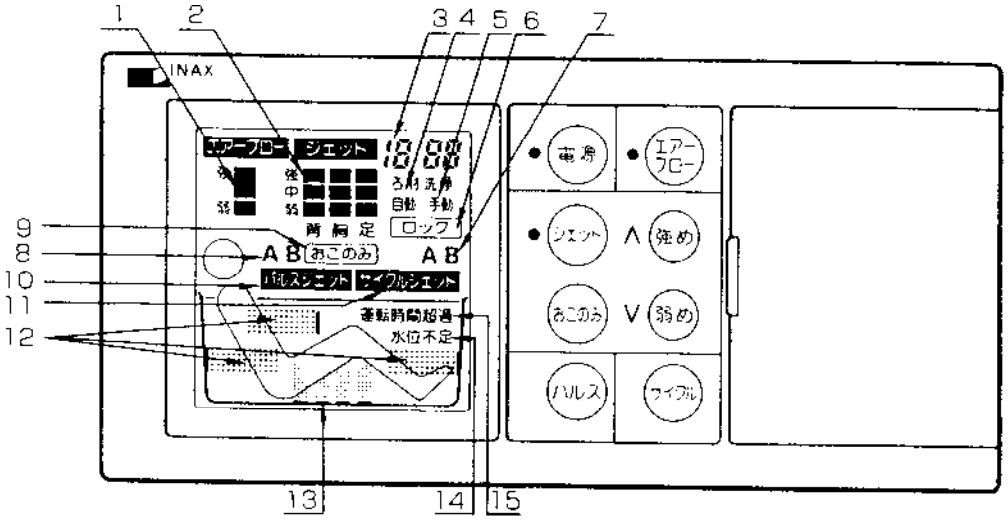
リモコン　―スイッチ部―



1	電源ボタン	電源のオン・オフを行います。オンの時はランプが点灯します。
2	エアーブローボタン	エアーブローのオン・オフを行います。オンの時はランプが点灯します。
3	ジェットボタン	ジェットのオン・オフを行います。オンの時はランプが点灯します。
4	強めボタン	背・胸・足のジェットのつよさが同時に一段階アップします。
5	弱めボタン	背・胸・足のジェットのつよさが同時に一段階ダウンします。
6	おこのみボタン	ジェットのつよさがおこのみになります。
7	パルスボタン	パルスジェットのオン・オフを行います。
8	サイクルボタン	サイクルジェットのオン・オフを行います。
9	時刻合わせボタン	時・分で時刻を設定します。
10	ロックボタン	ジェット・エアーブローの作動を停止させておくことができます。
11	ジェット強さ調節ボタン	背・胸・足のジェットのつよさの調節を各々行います。
12	おこのみ設定ボタン	おこのみのジェットのつよさを設定します。
13	ろ材洗浄ボタン	ろ材の洗浄を行います。タイマーで自動的に停止します。
14	パルス切替ボタン	パルスのパターン切替を行います。
15	サイクル切替ボタン	サイクルのパターン切替を行います。
16	エアーブロー強弱切替ボタン	エアーブローの強弱切替を行います。

※　電源ボタンにて、エラーリセットを行います。

リモコン　―液晶表示部―



1	エアーブローつよさ表示	エアーブローのつよさを表示します。
2	ジェットつよさ表示	背・胸・足のジェットのつよさを表示します。
3	時刻表示	時刻が表示されます。
4	自動ろ材洗浄表示	自動ろ材洗浄運転時に表示します。
5	手動ろ材洗浄表示	手動ろ材洗浄運転時に表示します。
6	ロック表示	ロック時に表示します。
7	サイクルパターン表示	サイクルパターンを表示します。
8	パルスパターン表示	パルスパターンを表示します。
9	おこのみ表示	ジェットのつよさがおこのみ設定値の時に表示します。
10	パルスジェット表示	パルスジェット運転時に表示します。
11	サイクルジェット表示	サイクルジェット運転時に表示します。
12	ジェット表示	ジェット運転時に表示します。
13	エアーブロー表示	エアーブロー運転時に表示します。
14	水位不足表示	水位不足時に表示します。
15	運転時間超過時	ジェットかエアーブローが連続15分運転された時表示します。

安全のために必ずお守りください

ここでは、お客様がマルチジエットを安全にご使用いただくため、人身事故や家財の損害を回避するための注意事項を挙げています。
ご使用する前に、必ずこの項目をよくお読みいただき、事故のないように正しくご使用ください。
※温水器・追焚給湯器・風呂釜・風呂フタ等付帯する機器や部品を使用する場合は各々の機器や部品の取扱説明書および本体の注意表示にそって使用してください。

用語及び記号の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

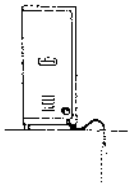
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	必ずアース線を接続していただく「アース接続」の内容です。
	分解を行ってはいけない「分解禁止」の内容です。

⚠ 警告

第3種接地工事に準じ、アース棒を使用したアース工事が行われていることをご確認ください。

※ アース工事が行われていないと、漏電時に感電する恐れがあります。
行われていない場合は、お求めの取扱店にお問い合わせください。



浴室内では小さなお子様やお年寄り、身体の不自由な方は必ず保護者（介護者）に付き添ってもらってください。

※ おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れがあります。

次の方は入浴しないでください。

- ●泥酔された方
- ●睡眠薬を使用された方
- ●持病、妊娠、貧血等で医師から入浴を止められている方
- ●体調の悪い方

※ 気分が悪くなったり、体調が悪化する恐れがあります。
※ 転倒してケガをする恐れがあります。

次の方はジェットを使用しないでください。

- ●心臓疾患のある方や持病のある方
- ●高血圧の方
- ●妊娠されている方

※ 気分が悪くなったり、体調が悪化する恐れがあります。
※ 転倒してケガをする恐れがあります。
※ 持病のある方は医師と相談し指導に従ってください。

小さなお子様を浴室内で遊ばせないでください。

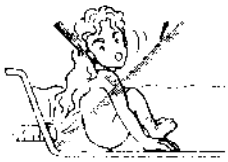
※ おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れがあります。

浴室内には電気製品を持ち込まないでください。

※ 感電する恐れがあります。

安全カバーやヘアーキャッチャーを外したままジェットを使用しないでください。

※ 髪や身体が吸い寄せられ、おぼれたりケガをする恐れがあります。

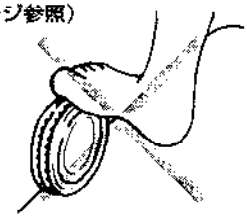


安全カバーは万一の時を考慮し外れやすくなっています。ジェット使用中に安全カバーが外れた場合は、必ずジェットを停止した状態ではめ直してください。

※ 髪や身体が吸い寄せられ、おぼれたりケガをする恐れがあります。

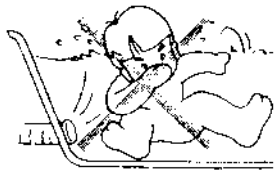
安全カバーに足をかけたり、けったりしないでください。

※ 安全カバーやヘアーキャッチャーが外れたり、破損してケガをする恐れがあります。
破損した場合は、お求めの取扱店にてお買い上げください。（33ページ参照）



ジェット使用中は水中にもぐって遊んだりしないでください。

※ 髪や身体が吸い寄せられ、おぼれたりケガをする恐れがあります。
※ 目や耳に気泡を直接当てると炎症をおこしたり、目に異物が混入した場合は、失明する恐れがあります。

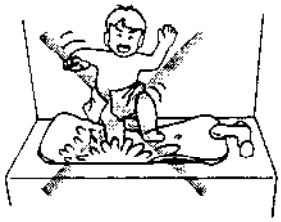


室外の機能部が設置されている場所で、排気ガス等の有害なガスを発生させないでください。

※ ジェットの空気は機能部から取り入れているため、ガス中毒になる恐れがあります。

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上には絶対に乗ったり、手をついたりしないでください。

※ おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れがあります。



風呂釜をご使用の場合は、排水栓をきちんと閉めてください。

※ 水がもれていると、から焚きとなり火災や浴槽が傷む恐れがあります。

当社指定の修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理、改造は行わないでください。

※ 機器の発火や異常動作でケガをする恐れがあります。
故障と思われる場合は、お求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室へご相談ください。

⚠注 意

ヒビ割れ等の入った浴槽は使用しないでください。

※ケガをする恐れがあります。
ヒビ割れ等を見つけた場合は、使用を中止し、お近くの当社支社、お客さま相談室に相談ください。

浴槽上縁面に乗ったり、上縁面から飛び降りたりしないでください。

※滑ったり、浴槽が破損してケガをする恐れがあります。

入浴するときは浴槽の縁等に手をそえて、ゆっくりと出入りしてください。

※足を滑らせてケガをする恐れがあります。

浴室内には花びん等割れやすいものを置かないでください。

※割れてケガをする恐れがあります。

シャンプーや石ケン類を容器からこぼれたままにしないでください。

※滑ってケガをする恐れがあります。

浴室で使用する洗剤、殺虫剤、かび取剤、その他薬品類は、容器等に記載の注意表示にしたがって正しく使用してください。

※使い方を誤ると人体に影響を及ぼしたり、漏水や故障の原因になることがあります。

機能部の上に乗ったり、ものをのせたりしないでください。

※ケガをしたり、配管等が破損して漏水する恐れがあります。

浴槽に無理な力を加えたり、重いものや硬いものを落としたりしないでください。

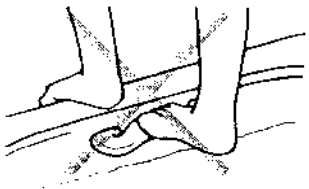
※浴槽にヒビが入り、ケガをしたり、漏水をする恐れがあります。

リモコンに無理な力を加えたり、硬いものをぶつける等の強い衝撃を与えないでください。

※リモコンが破損しケガをしたりリモコンが破損する恐れがあります。

ハンドグリップやアームレスと（ひじかけ）付きの浴槽の場合、足をかけたり（乗ったり）、けんすい等の目的で使用しないでください。

※滑ってケガをする恐れがあります。



浴槽まわりの目地やコーキングが切れたり、浮いたまま使用しないでください。

※漏水の原因となります。

風呂フタを選ぶ場合は、浴槽の上縁面に十分かかる大きさのものを選んでください。

※風呂フタがずれ落ちてケガやヤケドをする恐れがあります。
専用風呂フタのご使用をお勧めします。

ジェットを使用するときは10分程度にとどめてください。

※長時間使用すると、心臓に負担をかける恐れがあります。

凍結の恐れがあるときは次の要領で対応してください。

●浴槽の水を全て排水してください。
なお石油給湯付風呂釜、またはガス追焚付給湯器等の強制循環式風呂釜をセットする場合は追焚配管の水抜きを行うか、追焚配管に取り付けられたヒータの電源を入れてください。

※浴槽の水を抜かないと機能部や浴槽部の配管の凍結により、破損し漏水する恐れがあります。
なお追焚配管が凍結する恐れがありますので、水抜きを行わない場合は、必ずヒータが取り付けられていることをご確認ください。
取り付けていない場合はお求めの取扱店に取付けをご依頼ください。

●機能部内部には浴槽の水を排水後も若干の水が残る恐れがあります。そのため外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒータを組み込んでいます。
この装置は電源プラグを抜くと作動しなくなりますので機能部の電源プラグは必ず差し込んだままにしておいてください。

入浴前に必ず湯温を確かめてください。

※ヤケドをする恐れがあります。

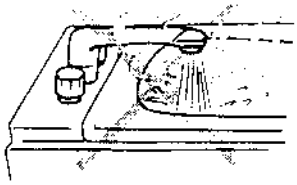
故障をおこさないためにお守りください

お手入れの際、次のものは使用しないでください。
- ●酸性、アルカリ性および塩素系の薬品類。
- ●ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール、漂白剤または塩酸等の薬品や油類。
- ●クレンザー、磨き粉およびサンドペーパー等粒子の粗い研磨材やタワシ

※光沢を失わせキズつけたり、変色等の原因になります。
※リモコンや機能部の故障の原因になります。

お湯を沸かしすぎたり、直接熱湯（80℃以上）を入れないでください。

※浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因となります。



浴槽に無理な力を加えたり、重いものや硬いものを落としたりしないでください。

※キズ・ヒビ割れやへこみの原因となります。

タバコ等の火気を近づけないでください。

※コゲ痕が付いたり、変色する原因となります。

シャンプーや石けん類を容器からこぼれたままにしないでください。

※変色したり、シミになる原因となります。

浴槽上縁面に乗ったり、上縁面から飛び降りたりしないでください。

※浴槽が破損する恐れがあります。

ヘアピン等さびやすいものを放置しないでください。

※サビが付着して取れなくなる（もらいサビ）原因となります。

から焚きをしないでください。

※浴槽や風呂釜を傷める原因となります。

ハンドグリップ付きの浴槽の場合ハンドグリップに乗ったりけんすい等の目的で使用しないでください。

※ハンドグリップのがたつきにつながる恐れがあります。

栓が開いた状態で栓の上にのったり、栓に荷重がかかった状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください。

※排水栓が破損し、漏水する原因となります。

24時間バス（浴槽水浄化保温器）に該当する機器は使用しないでください。

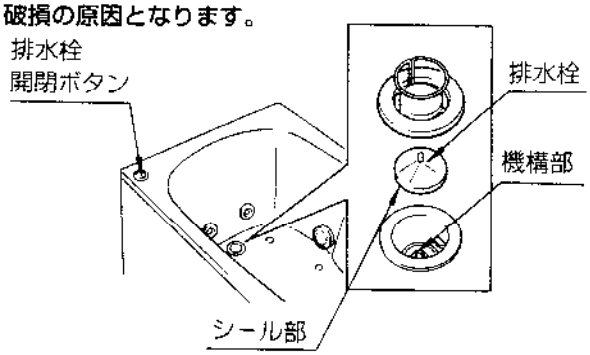
※継続して使用すると浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合があります。

入浴剤や温泉水を使用しないでください。

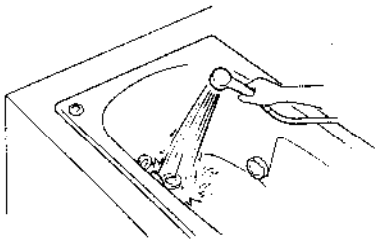
※浴槽表面を変色や機能部の故障の原因となります。

冬期に排水栓のシール部や機構部の水が凍結した状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください。

※破損の原因となります。



凍結のためにボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40℃以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。



噴射口や吸水口を手やタオル等でふさがないでください。

※保護装置が作動し停止したり、機能部が破損する恐れがあります。

浴槽内で石ケンを使用しないでください。

※ろ過機の能力低下を早めたり細菌の発生につながる恐れがあります。

リモコンに故意に水、洗剤をかけないでください。また、濡れたタオル等も掛けないでください。

※リモコンが故障する恐れがあります。

吸水口のヘアーキャッチャーは週に1～2回程度、歯ブラシ等で糸クズ、髪の毛等を取り除いてください。

※ヘアーキャッチャーがつまると保護装置が作動し停止したり、機能部が故障する恐れがあります。

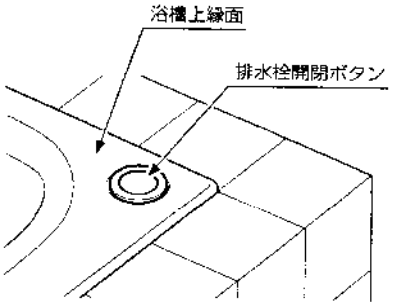
浴槽内にタオルや玩具等を持ち込まないでください。

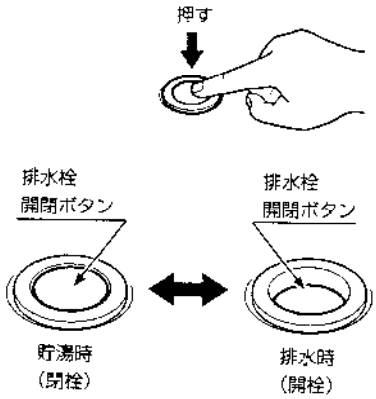
※異物を吸い込んで保護装置が作動し停止したり、機能部が破損する恐れがあります。

ご使用方法

■貯湯の準備・排水について

浴槽の排水口側上縁面にある排水栓開閉ボタンを押して、排水口の開閉を行います。
浴槽へお湯を貯めるときは、排水栓開閉ボタンが上がった状態にします。
排水するときは、排水栓開閉ボタンが下がった状態にします。
※排水栓のシール部にゴミなどが付着していますと、水漏れの原因となります。給湯前にご確認ください。
シャワー等で一度水を流してから貯水するとゴミの付着が少なくなります。





⚠ 警告

風呂釜をご使用の場合は、排水栓をきちんと閉めてください。
※水がもれていると、から焚きとなり火災や浴槽が傷む恐れがあります。

排水栓開閉ボタンの上に、風呂フタ等のものをのせないでください。
※排水栓が開き、貯湯されたお湯が排水される原因となります。
専用風呂フタのご使用をお勧めします。

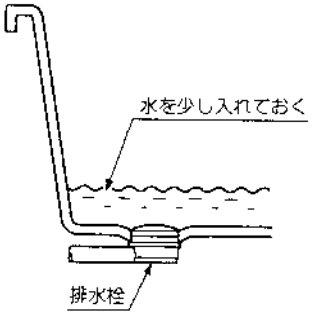
排水のときは、ジェット及びエアーブローを停止してください。
※ジェット及びエアーブローを運転したまま排水すると水位が下がったときに噴射口より周囲に水が飛び散ったり保護装置が作動し停止したりする恐れがあります。

■貯湯について

給湯式の場合

水を先に少しためてからお湯を入れます。

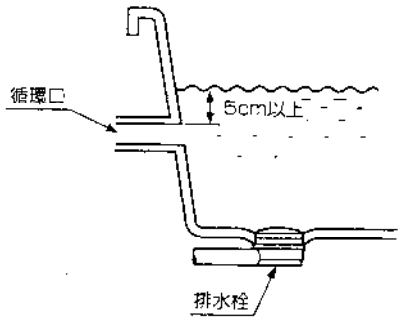
からの浴槽に直接熱湯(80℃以上)を入れないでください。
※浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因となります。



風呂釜式の場合

水を循環口の上端から5cm以上になるまでためてから、沸かします。

※風呂釜の使用方法は、風呂釜の取扱説明書に従ってください。

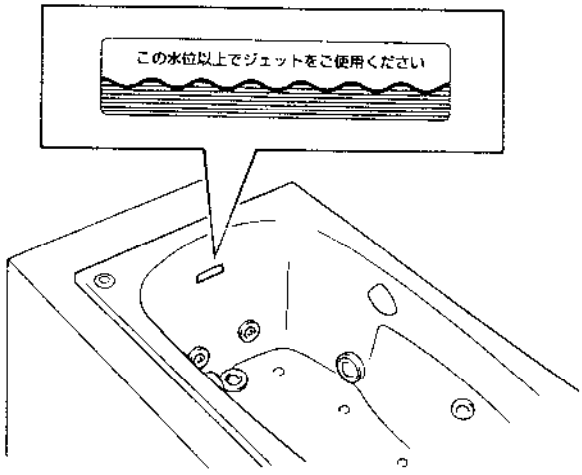


から焚きをしないでください。
※浴槽や風呂釜を傷める原因となります。

お湯を沸かしすぎないでください。
※浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因となります。

水位ラベルで示す位置より上まで浴槽にお湯を入れます。

※水位が少ないとジェット運転時に噴射口より周囲に水が飛び散ったり保護装置が作動し停止したりする恐れがあります。



ワンポイント

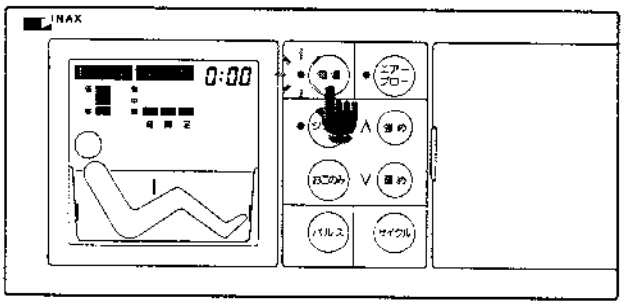
マルチジェットを使うと、噴流が身体に直接当たり、身体をシンから温める効果があります。お湯は普段よりぬるめにしてご使用ください。

■運転準備

電源を入れる

リモコンの(電源)ボタンを押します。

・緑のランプが点灯し、液晶表示します。



お知らせ

オートOFF機能

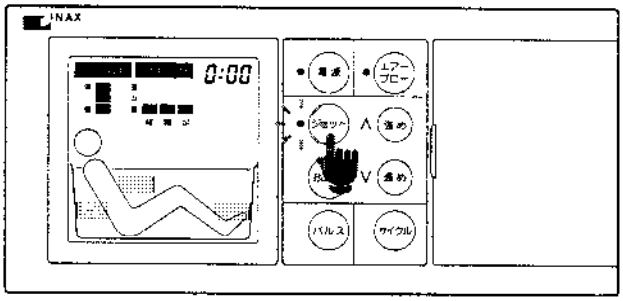
節電のため、リモコン電源「ON」状態で6時間何も操作されないときに自動で電源が「OFF」状態になります。

■ジェットの運転と停止の方法

ジェットを運転させる

リモコンの(ジェット)（ジェット入／切）ボタンを押します。

・赤ランプが点灯し、ジェットが運転します。



ワンポイント

ジェット運転直後は配管内にたまっている空気や水が冷えている可能性があります。入浴前に1～2分ジェットを運転をした後に入浴することをおすすめします。

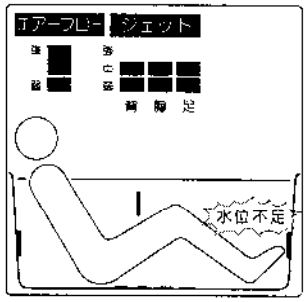
※浴槽に出入りするときは必ずジェットを一旦停止してください。

・ジェットのつよさ（つよさの調節は12ページを参照）

ジェットはジェットつよさ表示部に表示されているつよさで運転します。
［弱］では噴流のみとなり、水だけが循環します。気泡は含まれません。
［中］では少量の気泡流となります。
［強］では多量の気泡流となります。
おこのみ（14ページを参照）
パルス（15ページを参照）
サイクル（16ページを参照）

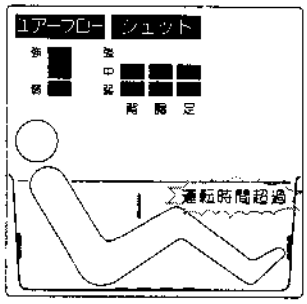
水位不足

水位が不足していると、数秒運転後ジェットが停止し、液晶表示部に［水位不足］が10秒間点滅します。お湯を水位ラベルで示す位置より上まで足してください。
再度ジェットを使用するときはジェットボタンを押してください。



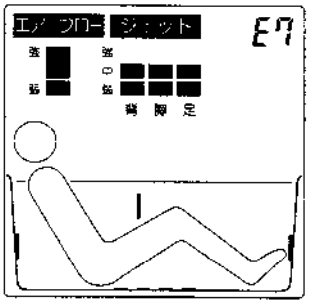
運転時間超過

機能部保護と使いすぎを防ぐため、15分経つと自動的にジェットが止まり、液晶表示部に［運転時間超過］が10秒間点滅します。
再度ジェットを使用するときはジェットボタンを押してください。



目づまり

吸水口がつまるとジェットが停止し液晶表示部に［E7］が表示される場合があります。再度ジェットを使用する前に、吸水口をお手入れしてください。（24ページ参照）
再度ジェットを使用するときは一度電源ボタンを押してクリアし、もう一度電源を入れジェットボタンを押してください。



ジェットを止める

ジェット運転中にリモコンのジェット（ジェット入／切）ボタンを押します。

・ジェットが止まります。

■ジェットのつよさを変える

ジェットのつよさは背側、胸側、足側の同時または、単独に変えることができます。
ジェットのつよさには［弱］、［中］、［強］の3種類があります。

- **［弱］では噴流です。気泡は含まれません。**
- **［中］では噴流に少量の気泡流となります。**
- **［強］では噴流に多量の気泡流となります。**

お知らせ

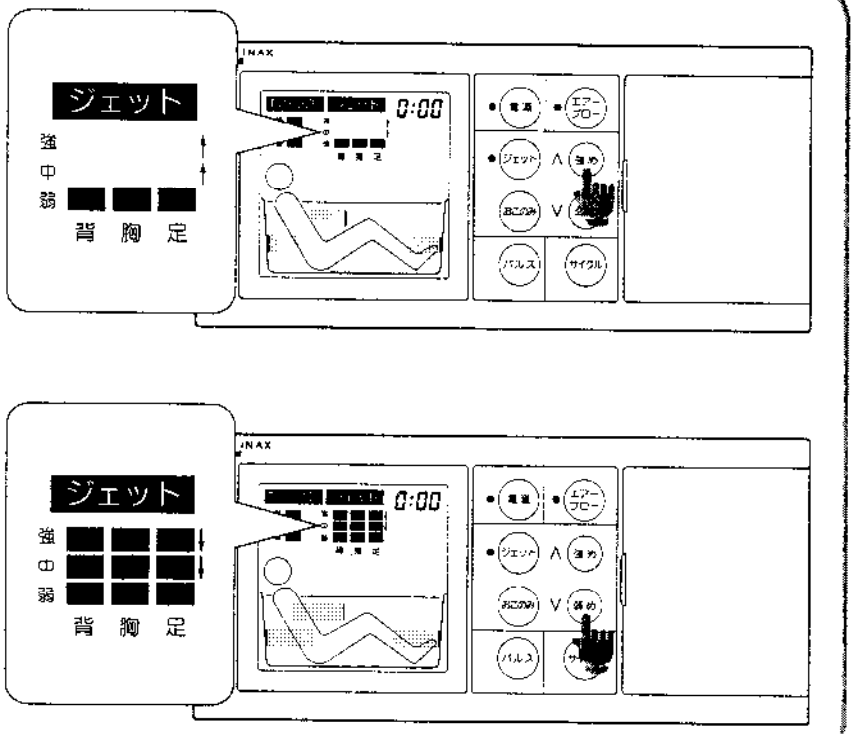
・ジェットはジェットつよさ表示部に表示されているつよさで運転します。お好みのジェットのつよさに変更し、入浴してください。
・前回のろ材洗浄から6時間以上経過していると電源「ON」後、最初のジェット（気泡流）運転時、自動で1分間ろ材洗浄を行います。ろ材の洗浄については「ろ材洗浄」（26ページ）をご覧ください。

背側、胸側、足側同時につよさを変えるには

（つよさ（強め））又は（つよさ（弱め））ボタンを押すと、背側、胸側、足側のジェットのつよさが変わります。

・（つよさ（強め））ボタンを押すたびに、背側、胸側、足側同時にジェットのつよさが［弱］→［中］→［強］の順番で変わります。

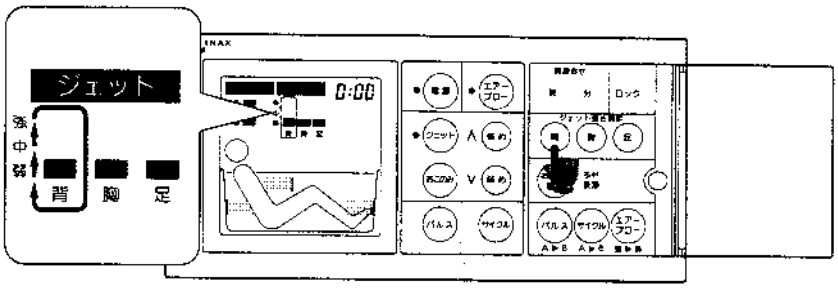
・（つよさ（弱め））ボタンを押すたびに、背側、胸側、足側同時にジェットのつよさが［強］→［中］→［弱］の順番で変わります。



背側のつよさを変えるには

(背)（つよさ（背側））ボタンを押すと、背側のジェットのつよさが変わります。

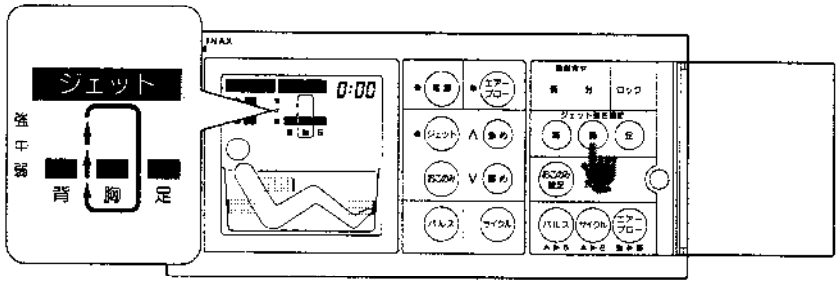
・(背)（つよさ（背側））ボタンを押すたびに、背側のジェットのつよさが［弱］→［中］→［強］→［弱］…の順番で変わります。



胸側のつよさを変えるには

(胸)（つよさ（胸側））ボタンを押すと、胸側のジェットのつよさが変わります。

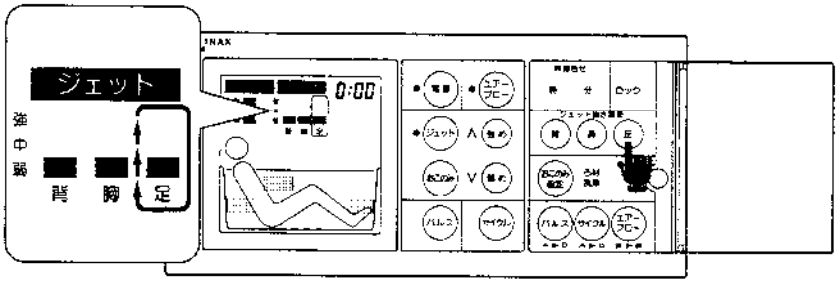
・(胸)（つよさ（胸側））ボタンを押すたびに、胸側のジェットのつよさが「弱」→「中」→「強」→「弱」…の順番で変わります。



足側のつよさを変えるには

(足)（つよさ（足側））ボタンを押すと、足側のジェットのつよさが変わります。

・(足)（つよさ（足側））ボタンを押すたびに、足側のジェットのつよさが［弱］→［中］→［強］→［弱］…の順番で変わります。



■おこのみのつよさを設定する

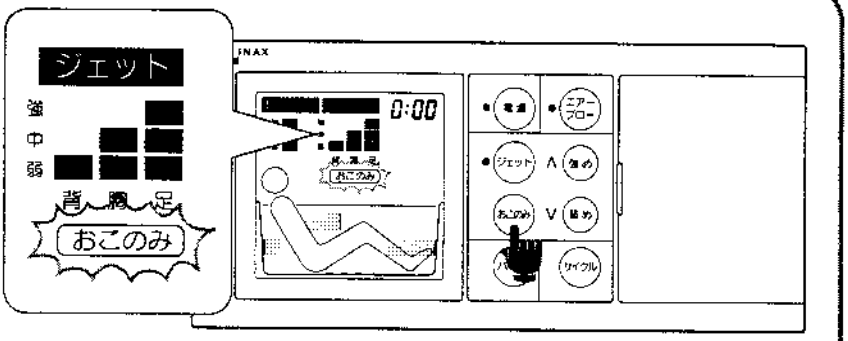
あらかじめセットされたジェットのつよさをワンタッチで再現します。

おこのみを使うには

おこのみ（おこのみ）ボタンを押します。

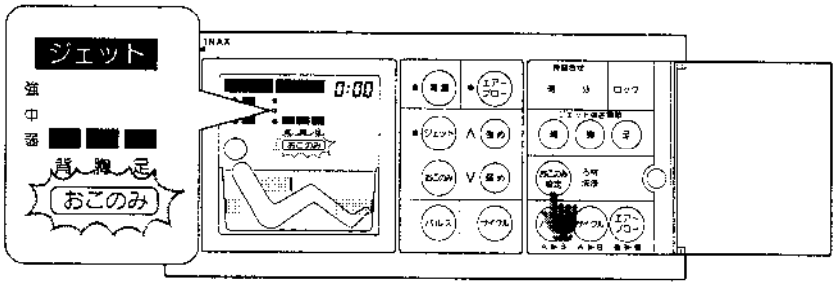
・液晶表示部におこのみが点灯し、ジェットのつよさが“おこのみ”になります。

・おこのみ運転中でもジェットのつよさの変更は行なえます。この時、おこのみは解除となります。

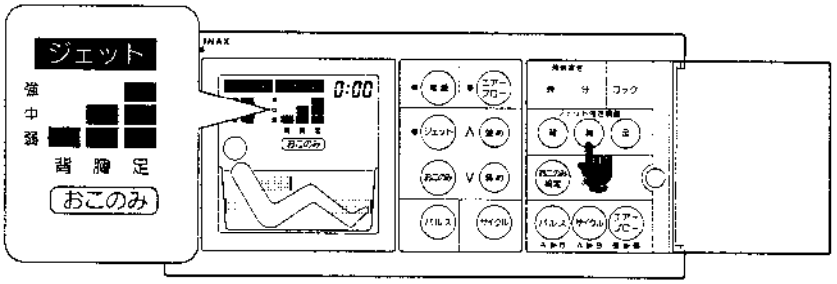


おこのみを設定するには

ジェット停止中におこのみ設定（おこのみ設定）ボタンを押すと、液晶表示部におこのみが点滅表示します。



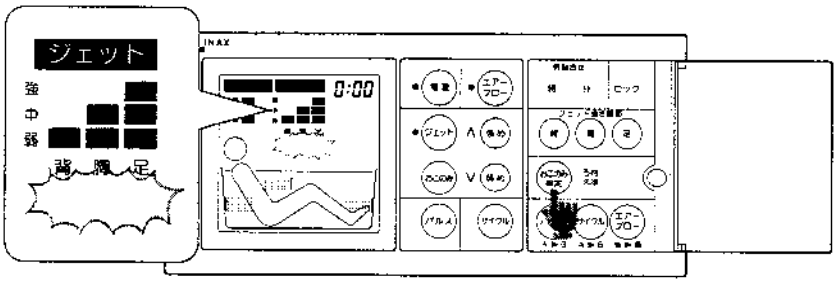
・強め、弱め、背、腰、足の各ボタンでおこのみのジェットの強さを選びます。



・おこのみ設定ボタンをもう一度押します。

・おこのみ表示が消えて、おこのみ設定が完了します。

・おこのみ設定は電源がオフされても保持されます。



■パルスジェットの運転

気泡流と水流が交互にくり返します。

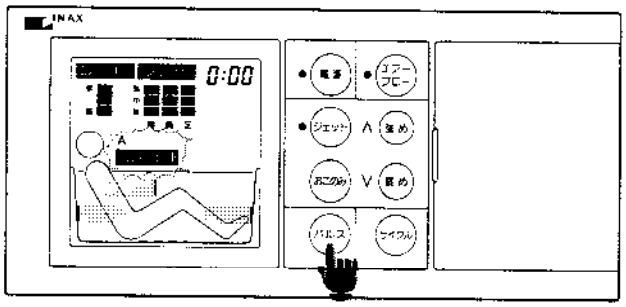
お知らせ

・周期は2パターン選ぶことができます。
・パルスパターンは前回セットしたものが保存されています。

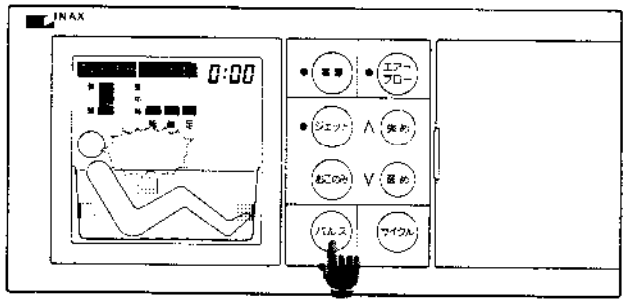
パルスジェットを運転するには

(パルス)ボタンを押します。

・液晶表示部にパルスジェットが表示されパルスジェットがスタートします。

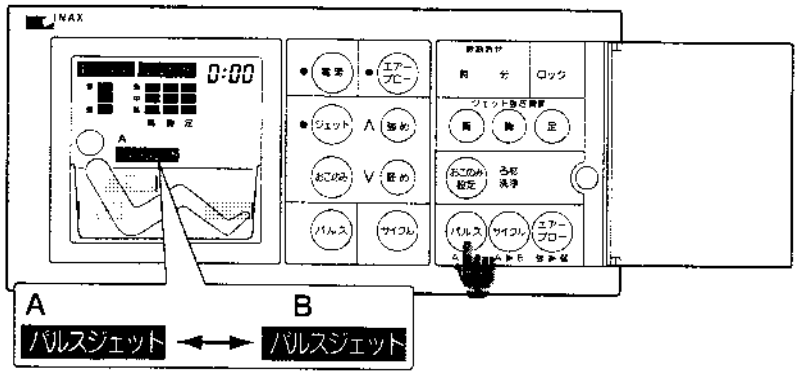


・(パルス)ボタンをもう一度押すと通常のジェット運転にもどります。



パルスの周期を切り替えるには

(パルス A▸B)ボタンを押すと、「A」→「B」→「A」…の順で切り替えられます。



■サイクルジェット

気泡流が背・胸・足の順にくり返します。

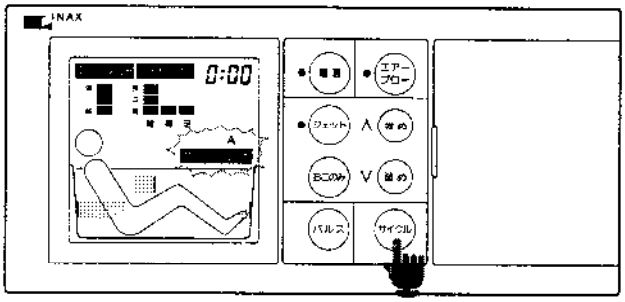
お知らせ

・周期は2パターン選ぶことができます。
・サイクルパターンは前回セットしたものが保存されています。

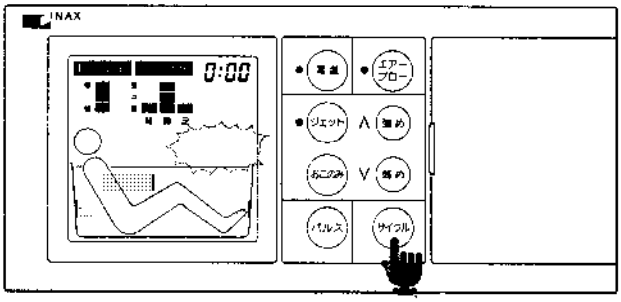
サイクルジェットを運転するには

(サイクル)ボタンを押します

・液晶表示部に[サイクルジェット]が表示されサイクルジェットがスタートします。

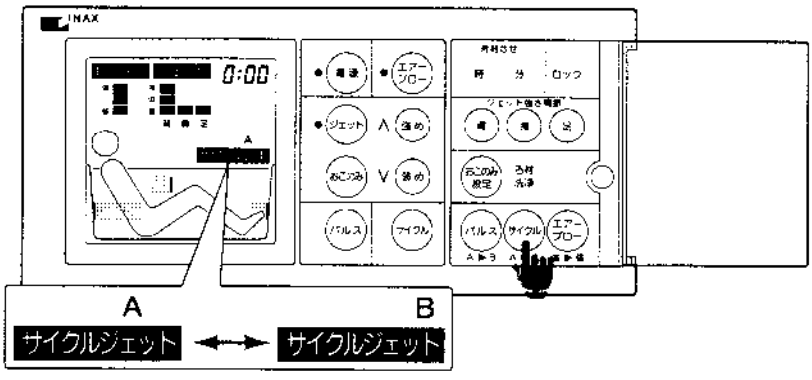


・(サイクル)ボタンをもう一度押すと通常のジェット運転にもどります。



サイクルの周期を切替えるには

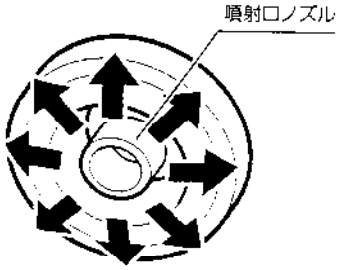
(サイクル A▶B)ボタンを押すと［A］→［B］→［A］…の順で切替えられます。



■ジェット（噴射口）の向きを変える

ジェットの向きは、各噴射口ごとに変えることができます。

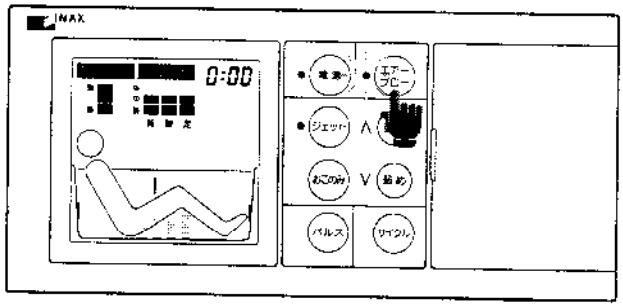
噴射口ノズルの先端を手で操作しお好みの向きに変えてください。
※方向により泡量が多少増減することがあります。
ジェット運転中に噴射口ノズルをふさいだり指を入れたりしないでください。
※水が逆流して水位が下がります。
噴射口ノズルの動きがかたく調節しづらい時は、ノズルカバーを時計と反対方向へ回し、締付けをゆるめてください。



■エアーブローの運転と停止の方法

エアーブローを運転させる

リモコンの（エアーブロー）（エアーブロー入／切）ボタンを押します。
・赤ランプが点灯しエアーブローが運転します。



ワンポイント

エアーブロー運転直後は配管内にたまっている空気や水が冷えている可能性があります。入浴前に1～2分エアーブローを運転した後に入浴することをおすすめします。

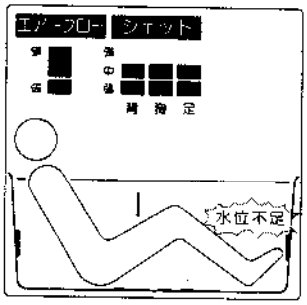
※浴槽に出入りするときは必ずエアーブローを一旦停止してください。

エアーブローのつよさは「強」から運転します。

水位不足

水位が不足していると、数秒運転後ジェットが停止し、液晶表示部に［水位不足］が10秒間点滅します。お湯を水位ラベルで示す位置より上まで足してください。

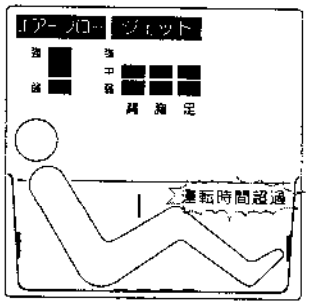
再度エアーブローを使用するときはエアーブローボタンを押してください。



運転時間超過

機能部保護と使いすぎを防ぐため、15分経つと自動的にジェットが止まり、液晶表示部に［運転時間超過］が10秒間点滅します。

再度エアーブローを使用するときはエアーブローボタンを押してください。



エアーブローを止める

エアーブロー運転中にリモコンの（エアーブロー）（エアーブロー入／切）ボタンを押します。

・エアーブローが止まります。

■エアーブローのつよさを変える

エアーブローの強さは2段階あります。

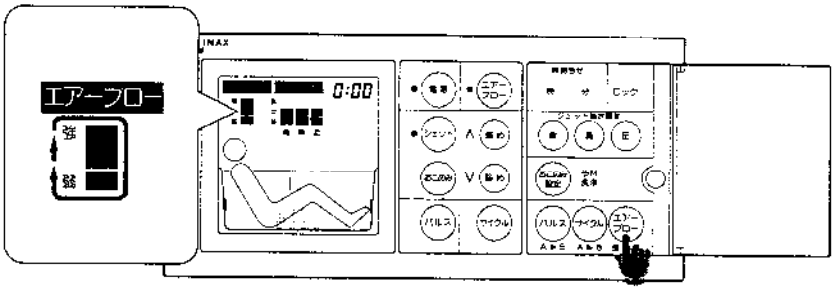
お知らせ

エアーブローはエアーブローつよさ表示部に表示されているつよさで運転します。お好みのエアーブローのつよさに変更し、入浴してください。

エアーブローのつよさを変えるには

（エアーブロー強弱切替）ボタンを押すとエアーブローのつよさが変わります。

・（エアーブロー強弱切替）ボタンを押すたびにエアーブローのつよさが「強」→「弱」→「強」→「弱」…の順番で変わります。

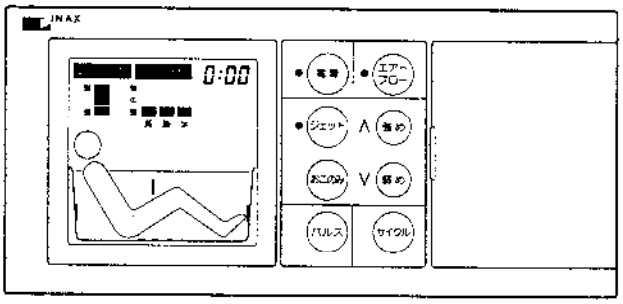


■リモコンを一時的に操作できなくする［ロック機能］

小さなお子さまのいたずらや事故の防止、また機器誤作動を防止するため、リモコンのボタンを一時的にロックし、操作できなくすることができます。
ロック中は、ロックボタン及び電源ボタン以外のすべてのボタンが操作できなくなります。
※ジェット及びエアーブロー使用中は、ロックボタンを押してもロックのセットはされません。ジェット及びエアーブローを停止してからロックのセットを行ってください。

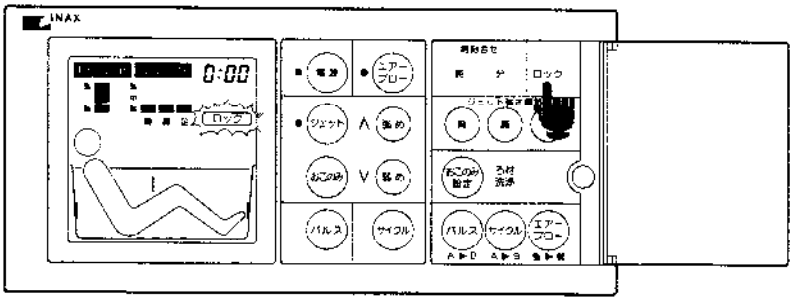
ロックのしかた

電源がONになっておりジェット及びエアーブローが停止していることを確認します。



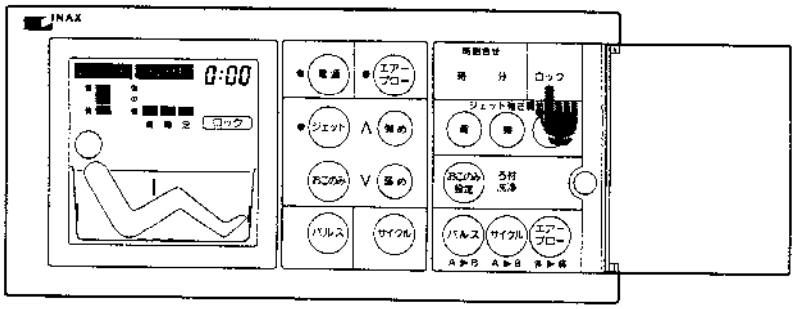
リモコンの扉を開けて、」ロックボタンを3秒以上押し続けます。

・「ピッ」という音が鳴り、リモコンはロック状態になります。



リモコンの液晶表示部に［ロック］が表示されていることを確認します。

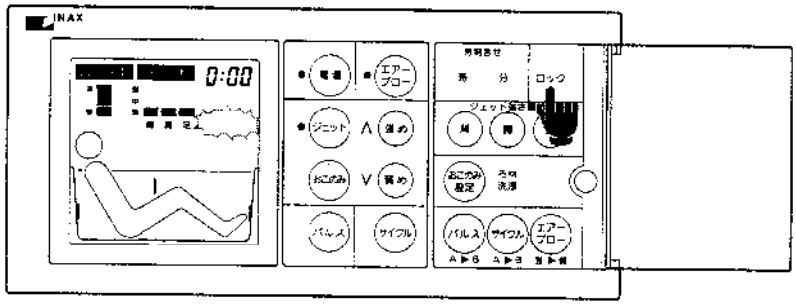
・リモコンが(ロック)状態のときには、ロックボタン及び電源ボタン以外は操作できなくなります。



ロック解除のしかた

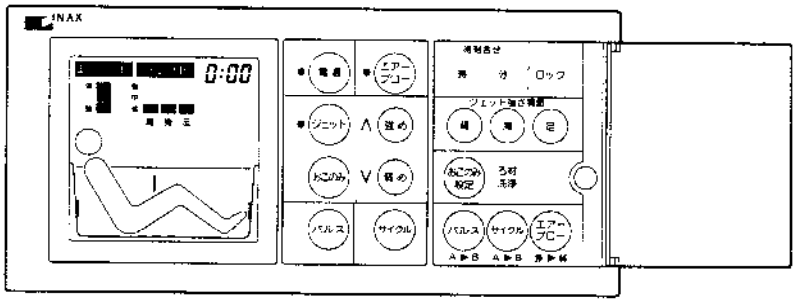
電源をONにし、ロック状態で(ロック)ボタンを3秒以上押し続けます。

・「ピッ」という音が鳴り、リモコンのロックが解除されます。



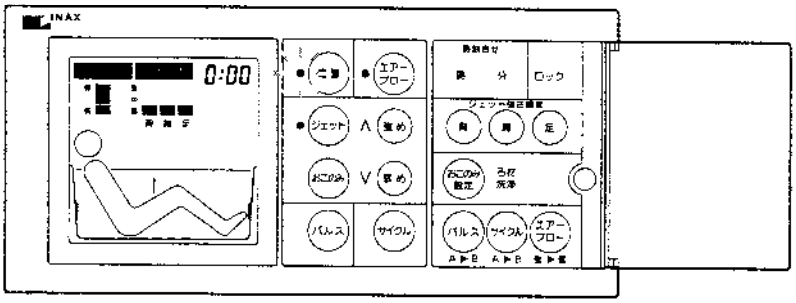
液晶表示部の［ロック］が消えたことを確認します。

・通常の電源「ON」の状態になり、通常のボタン操作ができるようになります。

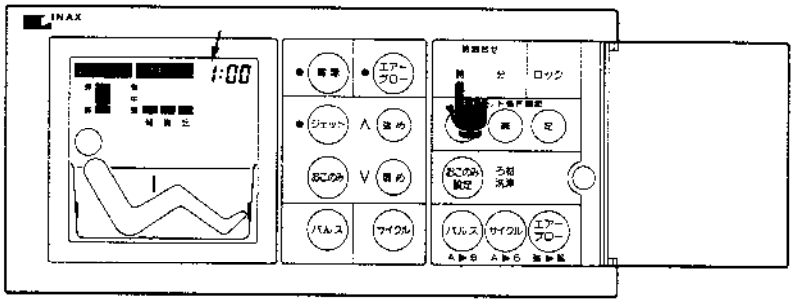


■時刻合わせ

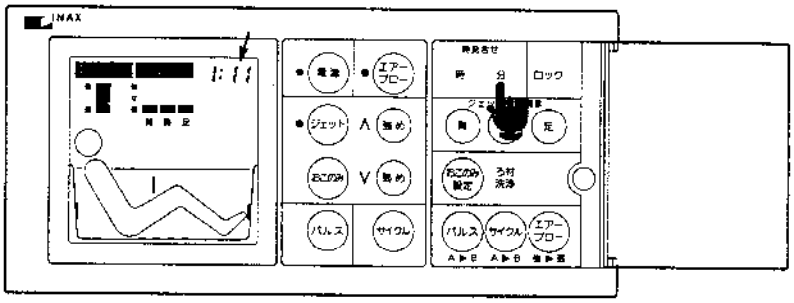
リモコンの電源ランプの点灯を確認します。



リモコンの「時」ボタンを押して時刻を合わせます。



リモコンの「分」ボタンを押して分刻を合わせます。



■上手に使うために

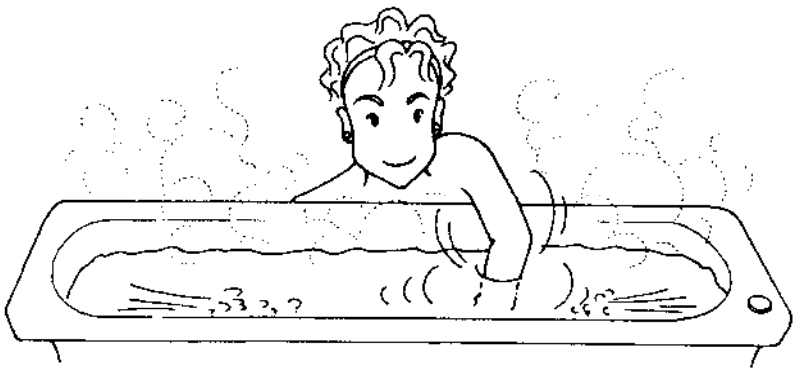
マルチジェットの噴流と気泡流の作用により、快適な入浴をお楽しみいただくことができます。

●ジェット及びエアーブロー運転直後は配管内にたまっている空気や水が冷えている可能性があります。入浴前に1～2分ジェットを運転した後に入浴することをおすすめします。

●マルチジェットを使うと、噴流が身体に直接当たり、身体をシンから温める効果があります。お湯は普段よりぬるめにしてご使用ください。

●マルチジェットはマッサージ効果を高めるために多量の空気を取り込んでいます。そのためジェット及びエアーブロー運転時の湯温の低下は通常入浴時よりも促進されますので追焚付給湯器との併用をおすすめします。

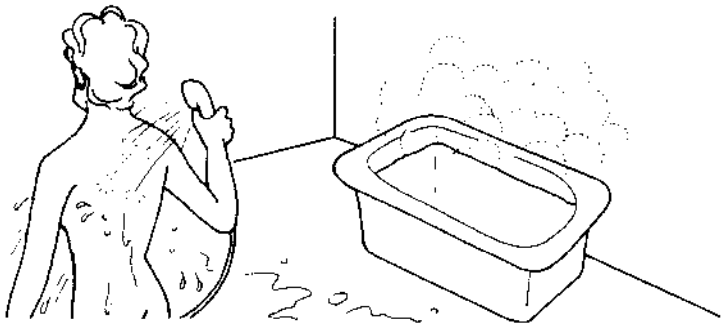
快適な湯温で楽しむために



・浴室に入ったらすぐにジェット及びエアーブローを運転してください。お湯がすばやくかき回され、湯温のムラがなくなり、さらに運転直後の噴流・気泡の冷たさによる不快感を防止できます。

※浴槽に出入りするときは必ずジェット及びエアーブローを一旦停止してください。

きれいなお湯で楽しむために



・ジェットは気泡流により体の汚れやアカがとれやすくなりますので、浴槽に入る前にシャワー、かぶり湯などで体の表面を洗い流してください。

お手入れ方法

⚠ 警告

浴室で使用する洗剤、殺虫剤、かび取剤、その他薬品類は、容器等に記載の注意表示にしたがって正しく使用してください。

※使い方を誤ると人体に悪影響を及ぼしたり、漏水や故障の原因になることがあります。

お手入れの際、次のものは使用しないでください。

●酸性、アルカリ性および塩素系の薬品類。

●ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール、漂白剤または塩酸等の薬品や油類。

●クレンザー、磨き粉およびサンドペーパ等粒子の粗い研磨材やタワシ。

※光沢を失わせキズをつけたり、変色等の原因になります。

※リモコンや機能部の故障の原因になります。

浴槽のお手入れ

浴槽用中性洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。

ワンポイント

入浴後、排水するときに掃除をすると汚れは簡単に落とすことができます。
時間がたつほど汚れは落ちにくくなります。

●浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。
鉄粉等が浴槽に付着すると斑点上の赤サビ（もらいサビ）が発生することがあります。

●浴槽を使用していくと、お手入れ状況や水質等により頑固で青や白い汚れ（金属石ケン）が付着し、なかなか除去できなくなることがあります。

●浴槽を使用していくと、接続管や給湯配管等の鋼製分により浴槽が青く染まることがあります。

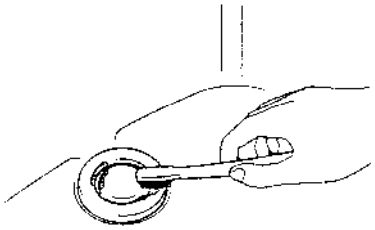
上記のようなやむをえない汚れには、市販クリームクレンザーを使用してていねいに磨いてください。

※クリームクレンザーの多用は浴槽の光沢を失わせるので、日頃からこまめに掃除してください。
浴槽を長い間ご使用されますと、浴槽の色あいや光沢が変わることがありますが材質や強度は使用上、問題ありません。

浴槽排水口のお手入れ

浴槽排水口のゴミを取り除いてください。

※排水口にゴミ等がたまると、浴槽水が排水されません。



リモコンのお手入れ

乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが除去できないときは、うすめた中性洗剤を含ませたスポンジか柔らかい布で汚れをふきとってください。
タワシやブラシ等は使用しないでください。
※リモコンが破損したり、故障の原因になります。

リモコンに故意に水、洗剤をかけないでください。また、ぬれたタオル等も掛けないでください。
※リモコンが故障する恐れがあります。

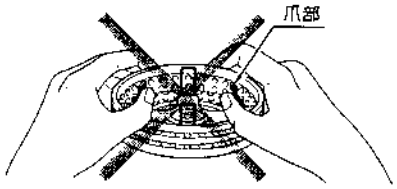
■吸水口のお手入れ（週1～2回行ってください）

髪の毛、糸くず等が吸い込まれると、機能部の故障や能力低下の原因となります。これを防ぐために浴槽内の吸水口にヘアーキャッチャーを装備しています。
ヘアーキャッチャーに湯あかや髪の毛がつまると保護装置が作動し停止したりジェットの噴射能力が低下しますので、こまめに（週1～2回程度）取り外して掃除してください。

⚠ 警告

安全カバーやヘアーキャッチャーを外したままジェットを使用しないでください。
※髪や身体が吸い寄せられおぼれたりケガをする恐れがあります。

安全カバーの爪部を曲げたり、安全カバーを踏んだりしないでください。
※安全カバーが破損して正規に取り付かなくなる恐れがあります。

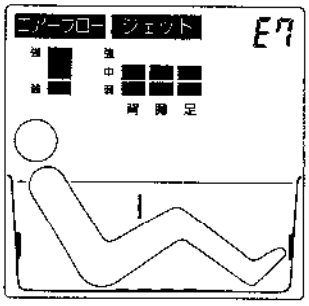


ワンポイント

入浴後、排水直後に掃除をすると汚れは簡単に落とすことができます。
時間がたつほど汚れは落ちにくくなります。

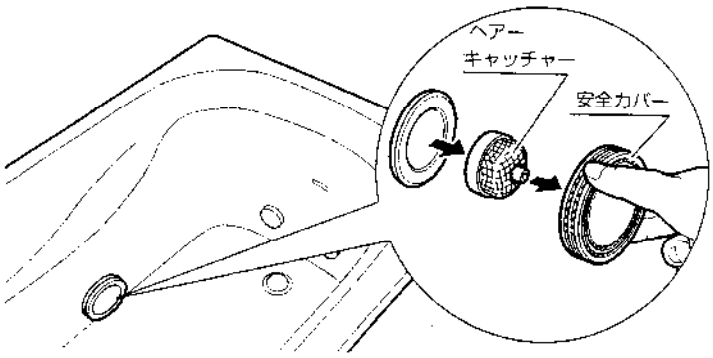
目づまり

吸水口がつまるとジェットが停止し液晶表示部に「E7」が表示される場合があります。再度ジェットを使用する前に、吸水口をお手入れしてください。
再度ジェットを使用するときは一度電源ボタンを押してクリアし、もう一度電源を入れジェットボタンを押してください。



お手入れのしかた

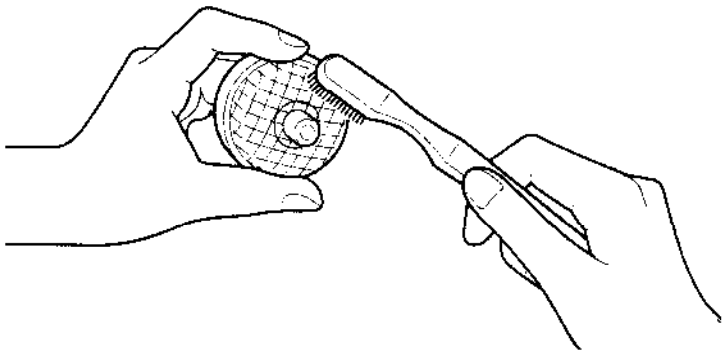
浴槽の水をすべて排水した後、安全カバーとヘアーキャッチャーを引き抜くように外します。



ヘアーキャッチャーの網目につまったごみを歯ブラシ等で取り除きます。

ワンポイント

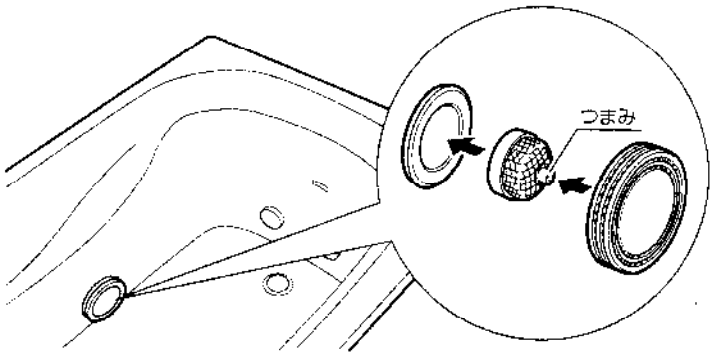
ごみはヘアーキャッチャーのうら側から水洗いした後ブラシでこすると容易に取り除くことができます。



掃除が終わったら、ヘアーキャッチャーを元の位置に差し込み、安全カバーを吸水口に押し当てるようにしっかり取り付けます。

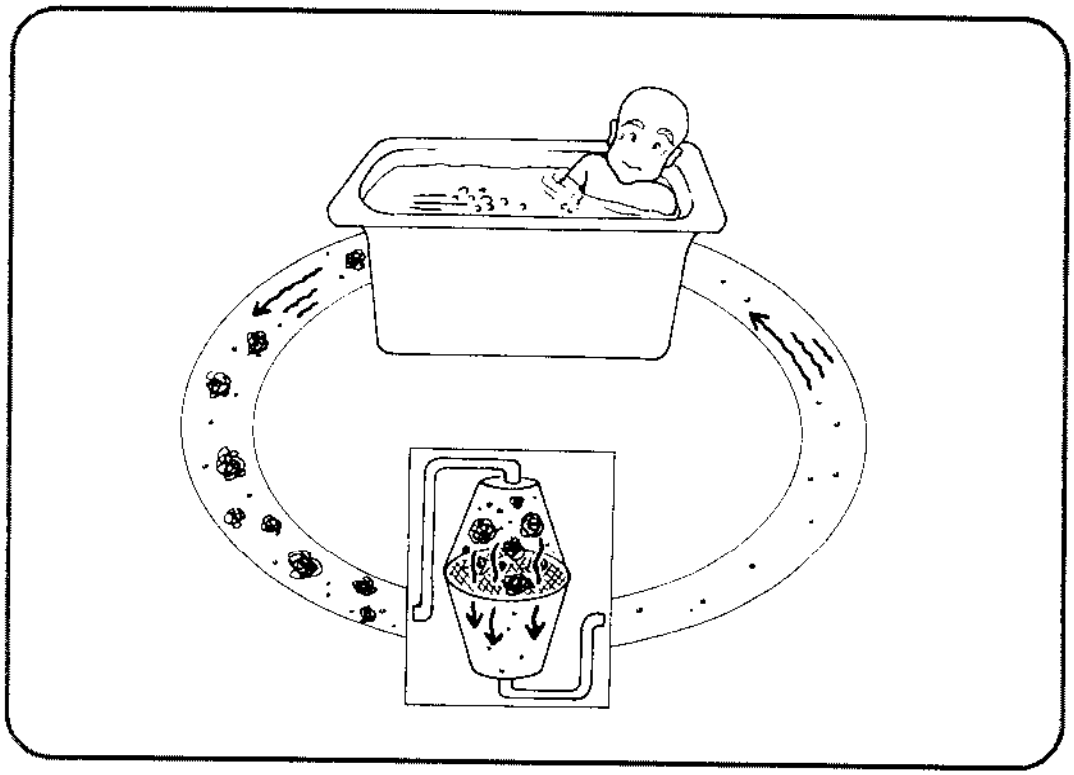
ヘアーキャッチャーのつまみ部を強く押したりひっぱったりしないでください。

※ヘアーキャッチャーが変形し、取り付かなくなる恐れがあります。



■ろ材洗浄

マルチジェットでは、ジェット運転中にお湯をろ過装置に通し、お湯のろ過を行っています。このろ材にたまった汚れを逆向きの水流で、洗い流し、排水することがろ材洗浄の機能です。ただし、浴槽の底に沈んだゴミや水面に浮いたゴミ、きわめて小さな汚れ・細菌などはろ過することができません。
24時間バスのようないつでも入浴できる水質にすることはできません。

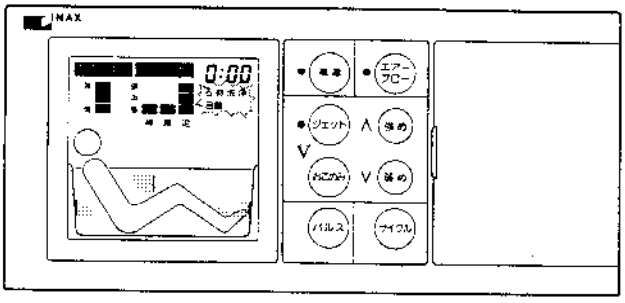


自動ろ材洗浄

前回のろ過洗浄から6時間以上経過していると電源ボタンを押した後、最初のジェット（気泡流）運転時に自動で1分間ろ材洗浄を行います。

液晶表示部に［ろ材洗浄中　自動］が表示されます。

- 機能部の排水口から汚れと一緒に水が排水されます。
- 浴槽の水を利用してろ材洗浄を行いますので、ろ材洗浄後浴槽内の水が約10リットル減りますので、ご注意ください。
- 水面上の浮遊物や底面に沈んでいる砂などは除去できない場合がありますのでご了承ください。

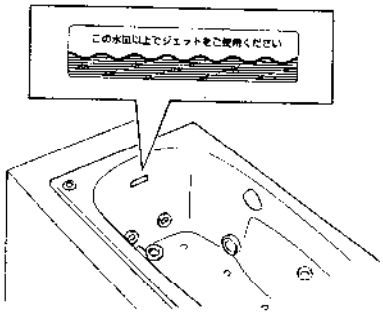


手動ろ材洗浄（月1回行ってください）

自動ろ材洗浄だけでは使用状況により十分な洗浄効果を発揮できないことがあります。ろ過器にたまったゴミや汚れは、ろ過の性能を低下させる原因となりますので、これを防止するためにも月1回は以下の手順にしたがって、手動ろ材洗浄を行ってください。

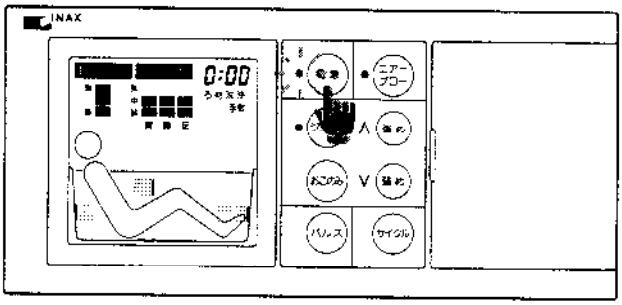
水位ラベルの示す位置より上まで浴槽に水を入れます。

※水位が少ないとろ材洗浄運転時に噴射口より周囲に水が飛び散ったり保護装置が作動し停止したりする恐れがあります。



リモコンの(電源)ボタンを押します。

・電源ランプが緑色に点灯し液晶表示します。

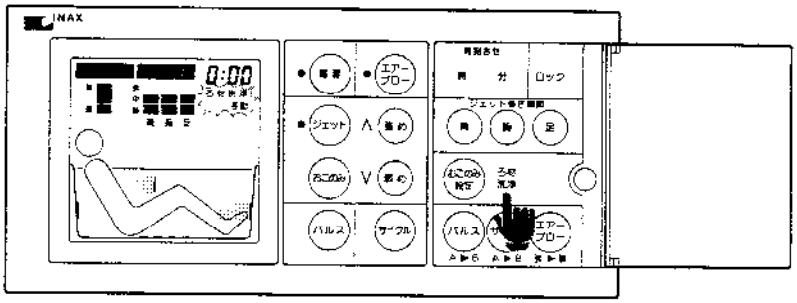


リモコンの扉を開け、(ろ材洗浄)ボタンを押します。

・液晶表示部に［ろ材洗浄中手動］が表示され、ジェットランプが赤色に点灯します。

・ジェットが運転し、ろ材洗浄が始まります。

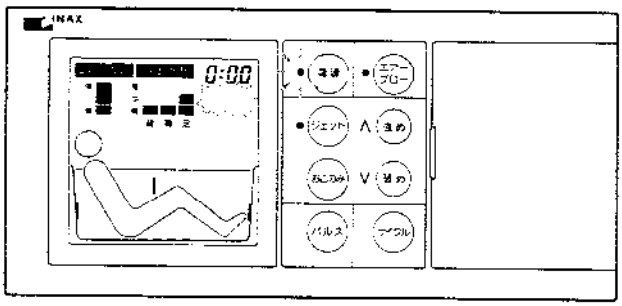
・機能部の排水口から汚れと一緒に水が排水されます。



ろ材洗浄は4分間行われ、自動的に停止します。

・液晶表示部の［ろ材洗浄中 手動］が消え、ジェットランプが消灯します。

・浴槽の水を利用してろ材洗浄を行いますので、ろ材洗浄後浴槽内の水が約50リットル減りますので、ご注意ください。



ろ材洗浄が終わると、電源ランプは緑色の点灯のままとなり、電源が「ON」の状態となります。

お知らせ

ろ材洗浄を自動停止前に終わりたい場合は、(電源)または(ろ材洗浄)のいずれかのボタンを押してください。

■凍結防止のために

暖かい地方でも、冬には機能部や配管中の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。凍結防止のために、以下の注意を守ってください。破損すると、高額の修理費がかかることがあります。

⚠注意

凍結の恐れがあるときは次の要領で対応してください。

●浴槽の水を全て排水してください。なお石油給湯付風呂釜、またはガス追焚付給湯器等の強制循環式風呂釜をセットする場合は追焚配管の水抜きを行うか、追焚配管に取り付けられたヒータの電源を入れてください。

※浴槽の水を抜かないと機能部や浴槽部の配管の凍結により、破損し漏水する恐れがあります。なお追焚配管が凍結する恐れがありますので、水抜きを行わない場合は、必ずヒータが取り付けられていることをご確認ください。
取り付けていない場合はお求めの取扱店に取り付けをご依頼ください。

●機能部内部には浴槽の水を排水後も若干の水が残る恐れがあります。そのため外気温がさがってくると自動的に器具内を保温するヒータを組み込んでいます。この装置は電源プラグを抜くと作動しなくなりますので機能部の電源プラグは必ず差し込んだままにしておいてください。

雪が積もったり、非常に寒くなる地方では、機能部に保護カバーを取り付けてください。
保護カバーの取付けについてはお求めの取扱店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

使用中に止まってしまったり、普段と違った状態になったときは、ただちに使用をやめて、以下の項目をよく読み、充分な点検をしてください。
それでも故障と思われる場合、あるいは原因がわからない場合は、決してご自分で修理しようとなさらず、お求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室へご相談ください。

⚠ 警告

当社指定の修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※機器の発火や異常動作でケガをする恐れがあります。

なお保証期間は、浴槽5年間、機能部1年間です。
誤った使用方法により故障した場合には、保証期間中でも修理費をいただく場合があります。

現象	原因	処置
電源ボタンを押しても表示がでない。	機能部の電源プラグが抜けている。	屋外にある機能部の電源プラグを正しく差し込んでください。
	停電している。	再通電されるまでお待ちください。
ジェットボタンを押しても全く作動しない。	電源ボタンが入っていない。	電源ボタンを押してから、もう一度ジェットボタンを押してください。
	ロック機能がセットされている（液晶表示部に［ロック］の表示がある）。	リモコンの扉を開け、ロックボタンを3秒以上押し、ロックを解除してから操作をやり直してください。
	浴槽に水が張られていないか、水量が少ない（液晶表示部に［水位不足］の表示がある）。	浴槽水を水位ラベルより上まで追加し、再度ジェットボタンを押してください。
エアーブローボタンを押しても全く作動しない。	電源ボタンが入っていない。	電源ボタンを押してから、もう一度エアーブローボタンを押してください。
	ロック機能がセットされている（液晶表示部に［ロック］の表示がある）。	リモコンの扉を開け、ロックボタンを3秒以上押し、ロックを解除してから操作をやり直してください。
	浴槽に水が張られていないか、水量が少ない（液晶表示部に［水位不足］の表示がある）。	浴槽水を水位ラベルより上まで追加し、再度エアーブローボタンを押してください。
お湯（水）がなかなかたまらない。 または、お湯（水）の量が徐々に減ってくる。	自動または手動ろ材洗浄で、浴槽水が使われた。	故障ではありません。湯を足してください。
	排水栓がきちんと閉まっていない。	修理を依頼してください。
	排水栓のシール部が傷ついている。	修理を依頼してください。

現象	原因	処置
ジェットが自動的に止まってしまう。	15分間連続使用した（液晶表示部に［運転時間超過］の表示がある）。	［運転時間超過］の表示が消灯後、再度ジェットボタンを押してください。
	浴槽に水が張られていないか水量が少ない（液晶表示部に［水位不足］の表示がある）。	浴槽水を水位ラベルより上まで追加し再度ジェットボタンを押してください。
	ろ材洗浄が終了した。	故障ではありません。（手動ろ材洗浄に伴うジェット運転は終了と同時に自動的に止まります）
	吸水口が目づまりした（液晶表示部に［E7］の表示がある）。	「吸水口のお手入れ」の手順に従い、吸水口のヘアーキャッチャーを掃除してください。
	噴射口ノズルがつまった（液晶表示部に［E7］の表示がある）。	噴射口部に異物がないか確認してください。
噴流が弱い、気泡の出方が少ない。	吸水口がつまっている。	「吸水口のお手入れ」の手順に従い、吸水口のヘアーキャッチャーを掃除してください。
	噴射口ノズルが詰まっている。	噴射口部に異物がないか確認してください。
	ジェットのつよさが「弱」である。	「弱」では噴流のみで気泡は出ません。
	正しく施工されていない。	お求めの販売店にご相談ください。
ジェット及びエアーブロー開始までに時間がかかる。	浴槽から機能部までの配管が長い。	故障ではありません。
冷たい水が出てくる。	配管内にたまっていた、外気で冷えた水が出てさた。	運転のはじめだけで、故障ではありません。入浴前に1～2分ジェット及びエアーブロー運転を行い、止めてから入浴してください。
機能部排水口から水が出る。	ろ材洗浄水およびオーバーフロー水が排水される。	故障ではありません。
機能部排水にビーズが混ざる。	ろ材洗浄中ろ材が一部流出した。	ろ過用のビーズが流出したもので、故障ではありません。
使用初期に噴出口からビーズが出る。	ろ材が一部流出した。	ろ過用のビーズが流出したもので、故障ではありません。徐々に出なくなります。
使用初期に浴槽表面が薄青くなる。	接続管や給湯配管等の銅イオンが石けん等と結びついて銅化合物として析出した。	故障ではありません。人体にも悪影響はありません。繰り返し使用することで自然に消滅します。23ページ「浴槽のお手入れ」参照
使用初期に浴槽表面に茶色の汚れがつく。	浴槽水の鉄分が酸化して析出した。	故障ではありません。人体にも悪影響はありません。繰り返し使用することで自然に消滅します。23ページ「浴槽のお手入れ」参照

■リモコンの警告表示

リモコン表示部の点滅によって異常状態を調べることができます。

アルファベットや数字の警告表示が点滅した場合にはお求めの取扱店または、お近くの当社支社、お客さま相談室にご相談ください。その際点滅している警告表示またはエラー番号もお知らせください。
原因が対処されるまで、ジェット及びエアーブローボタンを押してもジェット及びエアーブローを運転することはできません。

警報表示	異常状態	処置方法
E2	ろ過三方弁1異常	お求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室に連絡してください。
E3	ろ過三方弁2異常	お求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室に連絡してください。
E4	リモコンコード短絡	お求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室に連絡してください。
E5	リモコン異常	お求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室に連絡してください。
E6	圧力センサ異常	お求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室に連絡してください。
E7	吸水口封鎖	吸水口安全カバー、ヘアーキャッチャーの異物を取り除いてください。
水位不足	浴槽水位不足	浴槽の“水位ラベル”まで湯を入れてください。
運転時間超過	運転時間超過	再度スイッチを押してください。

エラーコードを点滅表示

“運転時間超過”,“水位不足”を10秒間点滅表示

アフターサービスについて

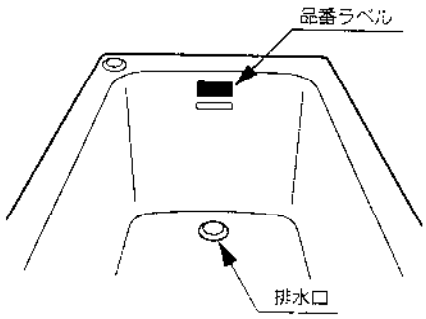
保証と保証期間について

●この商品は保証書付です。
保証書は必ず記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は浴槽本体が取付日より5ヶ年、排水栓が取付日より1ヶ年（BL品は2ヶ年）、機能部は取付日より1ヶ年です。
※保証期間中でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

修理を依頼されるとき

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの取扱店またはお近くの当社支社、お客さま相談室にご相談ください。
●”取扱説明書”どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき
●「故障かな？と思ったら」（29ページ）の処置で直らなかった場合
また、異常を感じたときは直ちに使用を中止して、修理を依頼してください。

＜連絡していただきたい内容＞
●おなまえ、おところ、電話番号
●商品名、品番（本体［右図参照］および保証書に表示）、取付年月日（保証書に表示）
●故障内容、故障の状況
●訪問ご希望日
※保証期間内は保証書の規定に従って修理させていただきます。
※保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理いたします。補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6ヶ年（BL品は10ヶ年）です。
補修用性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。



消耗品の取り替え・修理

マルチジェットには、次のような消耗品があります。破損あるいは変形した場合には、交換してください。
お求めの取扱店にご注文ください。

名称	品番	価格
安全カバー	AJ-Z-0011	2,200円
ヘアーキャッチャー	UJ-Y-0002	1,750円

アフターサービス等についてご不明な点がありましたら、当社支社、お客さま相談室等（連絡先はご愛用フォルダー裏面に記載）へお問い合わせください。

■廃棄について

人造大理石、FRP（ガラス繊維強化プラスチック）浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に修理を依頼してください。

仕様

●浴槽部

品番	JBP-1400PL(A)	JBK-1400PR(A)
浴槽材質	人造大理石	
浴槽型式	和洋折衷埋込型エプロンなし	
外寸法（mm）	1400×900×675	
内寸法（mm）	1300×730×510	
満水量	340L	
質量	79kg	
排水栓仕様	プッシュワンウェイ排水栓	
排水タイプ	左排水	右排水
噴射口	背・足・胸各2ヶ所　方向調節可　3段切替可	
エアーブロー口	浴槽底面8ヶ所　強弱切替可	
吸水口	浴槽長手側面1ヶ所　ヘアーキャッチャー付	

●機能部

品番	JBP-425C	JBP-426C
外寸法（mm）	635×323×640	
本体質量	48kg	
ポンプ型式	単相誘導電動機	
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50Hz	60Hz
定格消費電力	1100W	
運転電流	13A	
噴流量	200L/min（強さ「強」時6ヶ所合計）	
空気取入口	機能部内部（背側胸側足側単独）	
空気取入量	165L/min（強さ「強」時6ヶ所合計）	
強さ調節	3段階（弱、中、強）	
常用使用最高水温	45℃	
設置場所	屋外	
凍結対策	凍結防止ヒータにて保温（作動温度2.5±2.5℃）	
騒音値	54dB(A)	
ろ過機能	付（自動・手動ろ材洗浄機能付）	
リモコンコード	2芯	
電源コード	2.5mビニルキャブタイヤケーブル	
安全装置	漏電遮断機・空運転防止装置・吸水口目づまり検知装置 連続運転防止装置・過電流保護装置	
操作部	液晶付壁付リモコン（外寸法（mm）：209×98）	

取扱店（店名・住所・TEL）

取付日
19　　年　　月　　日